

2009年6月25日

広島市長
秋葉 忠利 様

広島市公立保育園保護者会連絡会
会長 西本 佐利



補正予算（臨時交付金）を活用して
広島市立保育園のままで老朽化・耐震対策
ならびに保育園の早急な新設・増設を求める緊急要望書

5月29日、総額13兆9,256億円、通常予算の予備費取り崩しを含めると15兆4,000億円にものぼる2009年度補正予算が成立しました。

厳しい雇用状況のもと、保育を必要とする家庭が急増し、深刻な貧困と格差が子どもの育ちに影をおとしています。安心して子どもを預けることのできる保育園、子ども達が豊かに成長していくための保育環境は、保護者の切なる願いです。また、ふたたび増加傾向にある待機児対策は緊急かつ重要な課題であり、保育所の新設・増設こそが急がれなくてはなりません。

つきましては、下記の事項を緊急に要望いたします。

記

1. 公立保育園の民営化方針を撤回し、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」（広島市においては19億4461万円）「地域活性化・公共投資臨時交付金」を活用し、公立保育園のままで老朽化と耐震対策を進めてください。
2. 同交付金を活用し、保育園の新設・増設を行ってください。
3. 1. 2.項に関する工事にあたっては、地元中小業者に発注するなど、地域経済の振興に努めてください。